

令和7年度 東日本国際大学 一般選抜 A方式「日本史」 出題の意図

全体方針

本試験は、古代から現代までを幅広く扱い、基礎的知識の正確な理解と、それを歴史の流れや因果関係の中で整理する力を評価することを目的としています。政治・社会・経済・文化をバランスよく出題し、受験生が暗記に偏らず、日本史を体系的に学習してきたかを確認します。

暗記中心の学習では対応できないように、知識の正誤判定や社会的背景の理解を求め、古代から現代までを通史的に扱うことで、偏りのない学習態度を確認します。

大学での学びに必要な、史料や事象を批判的に読み解き、現代社会につながる歴史的意義を考察する姿勢を確認します。

評価観点

1. 基礎知識の定着：主要な制度・人物・出来事を正しく理解しているか。
2. 体系的理解：歴史の大きな流れの中に位置づけられるか。
3. 因果関係の把握：政治・社会・経済・文化の相互関係を説明できるか。
4. 現代との接続：近代・戦後史を通して今日の社会につながる背景を理解できるか。

大問別の出題意図

I（古代～近世：正誤判定形式）

- ・歴史知識の正確な理解度を確認。

II（幕末～明治初期：政治と社会）

- ・近代国家成立の過程を多角的に理解しているかを確認。

III（明治～現代：経済・社会・国際関係）

- ・近代以降の日本を、国際関係・社会変化と結びつけて理解できるかを確認。